

関係者各位

琉球王国の貴重なお宝を初公開！ 首里城公園企画展「王家の秘宝」 マスコミ説明会 開催

首里城公園では、首里城公園企画展「王家の秘宝」のマスコミ説明会を4月12日（金）に開催します。

琉球王国時代、首里城は国王や王妃などの居城でもありました。今回の企画展では、王家の調度品であった可能性の高い逸品（漆工品、刀剣、絵画、書跡、染織品）や復元制作物を紹介し、展示を行います。特に沖縄美ら島財団が収集後、3年間保存修理や調査研究を行った孫億（そんおく）作「花鳥図」を初公開します。

【マスコミ説明会概要】

日時：2019年4月12日（金） 午前の部/10:00～11:00 午後の部/14:00～15:00

受付：首里城公園管理センター

※参加ご希望の方は、事前にご連絡ください。 ※開始15分前までにお集まりください。

※上記時間以外でも説明対応検討させていただきますのでお気軽にご相談ください。

【首里城公園企画展「王家の秘宝」展概要】

会期：2019年4月12日（金）～ 2019年7月2日（火）

場所：黄金御殿特別展示室

孫億（そんおく）とは、福建にいた中国人絵師で、琉球の絵師が留学した先で絵画の師匠となった絵師でもあります。

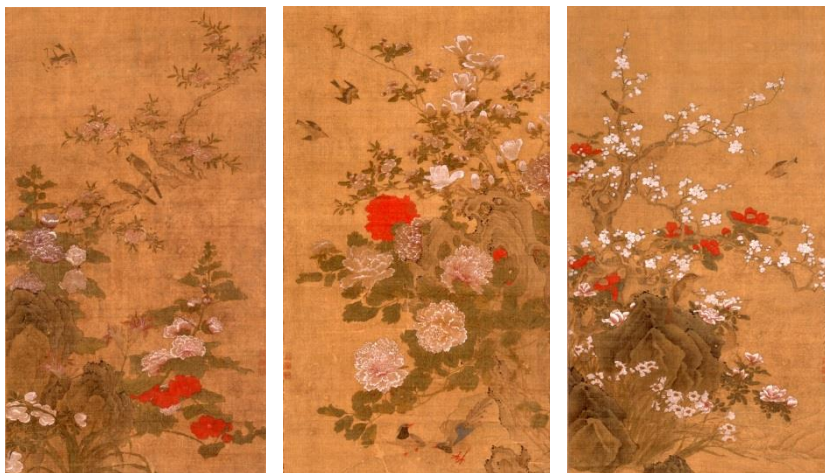
彼の作品は、琉球国王の首里城書院に保管されていたコレクションにもあったことが王家の記録台帳にも残されています。

今回、初公開となる孫億の花鳥図は、王家の書院の記録台帳に残された絵画と同じものである可能性が高い非常に貴重な作品です。

本物の作品は保存のため、黄金御殿特別展示室での公開となりますが、複製品を合わせ

て書院で展示を行い、首里城公園を来館されるお客様に往時の雰囲気を感じ取ってもらおうと企画しています（別紙1参考）。

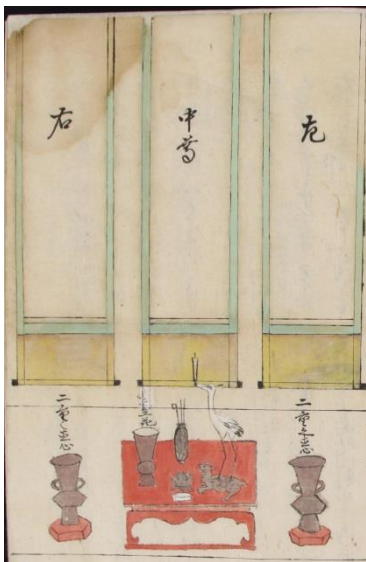
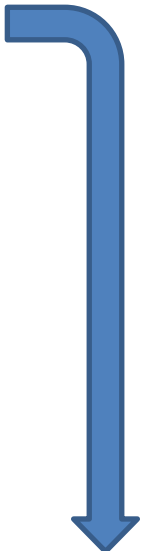
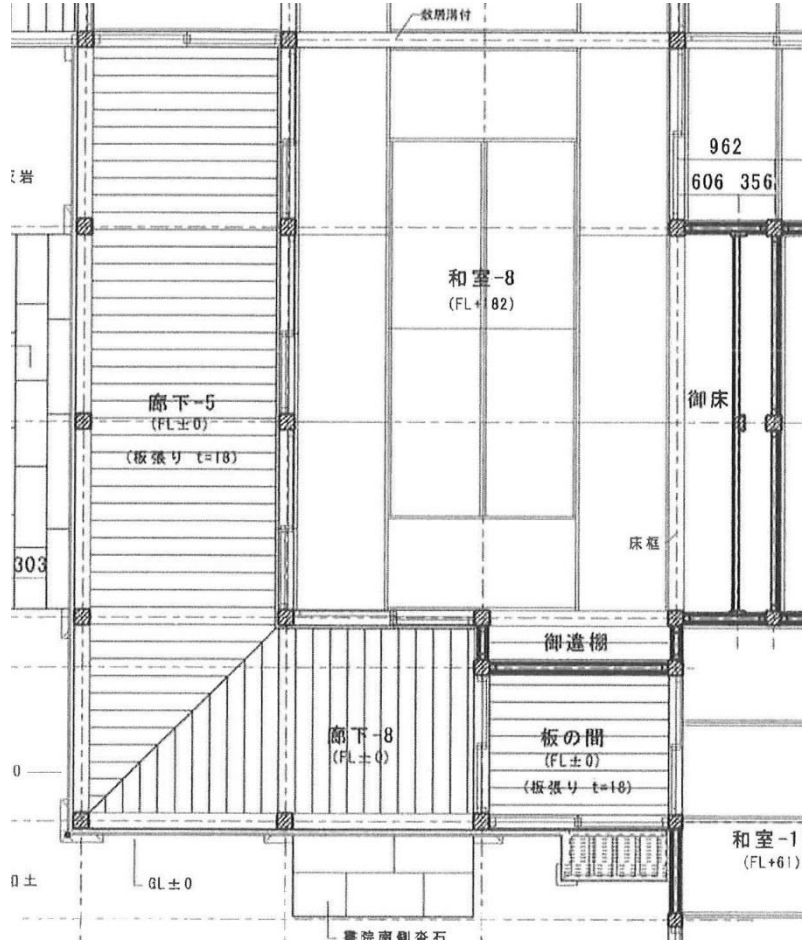
類稀なる琉球王国の宝を紹介しながら、琉球王国時代の建物の使い方も勉強できる機会を設けたいと考えていますので、ぜひご取材方よろしくお願ひします。



<お問い合わせ> (一財)沖縄美ら島財団 首里城公園管理部 首里城事業課 業務広報企画係・調査展示係

TEL 098-886-2020 / FAX 098-886-2022

首里城書院の床の間の展示レイアウト

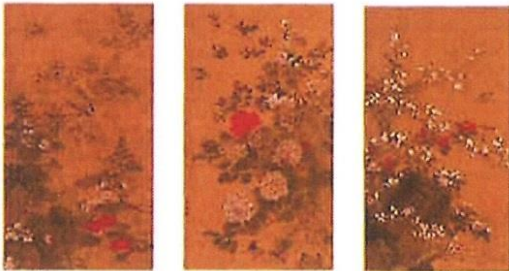


琉球王国時代の書院の床飾の様子が記録された絵図

『御書院並南風御殿御床飾』(沖縄県立博物館・美術館所蔵)という書物に記録されている。往時の首里城の御床の床飾の展示状態が分かる記録である。この絵図には三幅の絵画が掛けられていたことがわかる。



記録から、このような三幅の絵画が掛けられていたことがわかる。



孫億の花鳥図 三幅の複製展示

琉球国王の絵画・書跡コレクションの目録ともいえる『御書院御物帳』という記録に孫億の花鳥図が三幅あったと記録されている、本作品は尚王家伝来の孫億の花鳥図で数量も三幅ある。原資料は往時の書院の御床に飾られていた可能性が高い作品である。



首里城公園企画展

王家の秘宝

黄金御殿特別展示室

2019年4月12日(金)~7月2日(火)



首里城内を彩った
孫億の『花鳥図』、
修復後「初公開」。

康熙丁丑春三月于峰孫億寫



首里城公園企画展

The Ryukyu Red

南殿2階特別展示室

2019年4月19日(金)~7月2日(火)



首里城の彩豊かな「赤」の世界。

沖縄は今から140年程前まで、450年の歴史を持つ「琉球王国」という独立国でした。その王朝文化の象徴とされていたのが「首里城」です。王国の中心であった首里城は、歴代国王の生活の場であるとともに政治行政の場、様々な祭祀儀礼が行われる場であり、さらに外国からのお客様をおもてなしする外交の舞台でもありました。なかでも18世紀後半に重修された首里城正殿は、弁柄や朱などが用いられた「赤い王宮」であり、塗装技術の面から「巨大な琉球漆器」とも表現できる建造物です。

琉球は周辺諸国との交易を通じて様々な文化を吸収していましたが、王朝文化や外交を背景に、染織、漆器、陶芸、絵画、書跡などの技術をさらに磨いていきます。とくに洗練された技術によって製作された美術工芸品は献上品や貢納品などにも用いられ、そのなかにも弁柄、朱、麝脂などの「赤」の素材が用いられていました。

本展で展示紹介する漆器、染織、陶器、絵画、書跡などの琉球の美術工芸品、さらには色材（顔料や染料のサンプル）を通じて、色彩や明度のバリエーションが豊かな琉球の「赤」の世界をお楽しみ下さい。

*会期中、一部展示替えを行います。

「赤」が用いられた美術工芸品



ちよましろじぼたんしだれざくらりょうめんびんがたひとえいしよ
苧麻白地牡丹枝垂桜両面紅型単衣裳



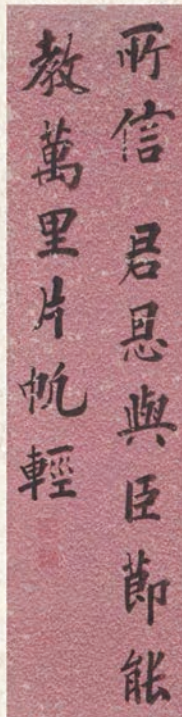
しゅうるしたーく
朱漆湯桶



平成28年8月から着手していた首里城正殿外部の漆等塗り直しの作業が、平成30年11月に完了しました。



かんろうぞうごしけん
関羽像(呉師虔筆)



ばしゅうこうしよ
馬執宏書



しゅうるしかちようらでんじよく
朱漆花鳥螺鈿卓

琉球王国時代に生み出され、現代に伝わる美術工芸品。中国や日本等外国との交流の中で、影響を受け技術を磨き、琉球独自の文化を生み出しています。これらはかつて王家の調度品としても使われていたと考えられ、外交上の重要な役割も担っていました。今に受け継がれる琉球のお宝をご覧ください。

*会期中、一部展示替えを行います。



きぬき いるじうめざくらがえでゆきわて まりもんようびんがたあせいしよ
絹黄色地梅桜楓雪輪手毬文様紅型袷衣裳



あおがいともえもんちらしあいくちしらす
青貝巴紋散合口拵



あおがいみじんゆりいんろうきざみざあいくちしらす
青貝微塵塗印籠刻鞘合口拵



かちようず そんおく
花鳥図(孫億筆)



アクセス

1. 路線バス

- 市内線 1 14 17 番・市外線 36 番に乗りし、首里城公園入口のバス停にて下車、徒歩約5分で守礼門に到着。
- 首里城下町線 7 8 番に乗りし、首里城前にて下車。徒歩1分で守礼門前に到着。
- 市内線 9 13 番・市外線 25 37 125 番に乗りし、山川バス停にて下車、徒歩15分で守礼門に到着。

2. 観光バス・乗用車・タクシー

バス・乗用車・タクシーは、首里社館(首里城公園レストセンター)地下駐車場にゆとりがある場合、係員の誘導により駐車することができます。

■首里社館駐車場ご利用料金

- 大型バス 960円 (回数券11回分9,600円)
- 小型車 320円 (回数券11回分3,200円)

■首里社館駐車場開館時間

- 4月～6月 8:00～20:00
- 7月～9月 8:00～21:00
- 10月～11月 8:00～20:00
- 12月～3月 8:00～19:00

※尚、駐車場の予約は修学旅行団体に限ります。(バスのみ)

3. モノレール(ゆいレール)

首里駅または儀保駅にて下車。徒歩約15分で守礼門に到着。



ご利用案内

■入館料金 ※車イスでもご覧いただけます。

	大人	中人 (高校生)	小人 (小・中学生)	6歳未満
一般	820円	620円	310円	無料
団体	660円	490円	250円	無料
年間パスポート	1,640円	1,240円	620円	

■開館時間

- 4月～6月(8:30～19:00)入場券販売締切 18:30
- 7月～9月(8:30～20:00)入場券販売締切 19:30
- 10月～11月(8:30～19:00)入場券販売締切 18:30
- 12月～3月(8:30～18:00)入場券販売締切 17:30

■休館日

- 7月の第一水曜日とその翌日

- 正殿、南殿・番所、書院・鎖之間、黄金御殿・奇満・近習詰所、奥書院、北殿、奉神門のある区域は有料ですが、それ以外の場所への入園は無料となります。
- 団体は20名様以上
- モノレール(愛称:ゆいレール)のフリー乗車券(一日券・二日券)をご利用中のお客様は、首里城公園券売所窓口にて乗車券の提示により、団体料金の適用となります。
※フリー乗車券の有効期限内において、1枚につきお一人様1回限りの割引となります。

ご問合せ

首里城公園管理センター

〒903-0815 沖縄県那覇市首里金城町1丁目2番地
TEL098-886-2020(代) FAX098-886-2022
<http://oki-park.jp/shurijo/>